



かみさと

議会だより

平成23年9月

No. 52

■発行／上里町議会 ■編集／議会だより編集委員会 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木982番地 TEL.0495-35-1216(直) FAX.33-2429

改修工事が進む御陣場川 完了間近の神保原駅南土地区画整理事業



(にしはら橋より下流を望む)

■「清流の復活」「安らぎとにぎわいの空間創出」を目指し水辺再生100プラン事業として御陣場川の護岸整備が進められています。



(めがね橋より上流を望む)



(神保原駅南北自由通路より望む)

※御陣場川は、大字藤木戸地内より町の中心部を経て、本庄市山王堂で利根川に合流する約8.1kmの一級河川です。

■昭和58年度より事業開始された神保原駅南土地区画整理事業は、平成24年度に換地予定になります。

もくじ

副議長就任、6月定例会・臨時会議案等の審議状況	2～3
一般質問	4～9
委員会のうごき・議員研修	10～11
議会日誌・編集後記	12



再生紙を使用しております



6月定例会

6月2日～10日

■副議長に 新井 實 議員を選出
■住宅用太陽光発電システム設置費補助金を含む
■補正予算を可決
■神保原駅南土地地区画整理事業内の字の変更を可決

6月定例会は、6月2日に開会され、議員6名の一般質問や副議長選挙、条例の一部改正、補正予算など町長提出議案10件や請願・陳情及び意見書を審議して10日に閉会しました。6月定例会で審議された内容をお知らせします。



副議長
新井 實

このたび6月6日の定例会におきまして、議員各位のご推挙をいただき副議長に就任致しました。

副議長就任あいさつ

◎文教厚生常任委員会正副委員長の互選
委員長 植原育雄
副委員長 高橋正行
※委員会構成表は、12ページに記載してあります。

◎副議長選挙
新井 實 7票
香澤幸子 1票
無効(白票) 5票

条例関係

◎職員勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例について

○地震等の災害に被災した際の特別休暇の取得要件の拡充及び東日本大震災の支援活動に対応するため、ボランティア休暇の特例を設

身に余る光栄であり、その重責を痛感し身の引き締まる思いであります。
地方議会の果たすべき役割は、いっそう重要となっており、上里町でも少子高齢化の進む中で保険、福祉対策をはじめ、子育て支援、教育の向上など多くの課題が山積されております。
町民の皆様への付託に応えるため、伊藤議長のもと、議会活動が公正かつ円滑に運営されるよう努力と研鑽を重ねていく所存であります。今後におきましても、議会活動になお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

けるため改正を行うものです。
※審議結果 原案可決

◎税条例の一部を改正する条例について

○東日本大震災の被災者への負担軽減を目的とした地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い改正を行うものです。
※審議結果 原案可決

◎後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

○地方税法第20条の4の2第2項の規定に基づき、延滞金の額の計算及び保険料に係る文書の様式を規則に委任するため改正を行うものです。
※審議結果 原案可決

◎介護保険条例の一部を改正する条例について

○地方税法第20条の4の2第2項の規定に基づき、延滞金の額の計算及び条文の整理について改正を行うものです。
※審議結果 原案可決

◎専決処分の承認を求めることについて

○国民健康保険税条例の改正を3月31日に専決処分したので、その承認を求めるものです。今回の改正は、加入者の低所得化や医療費の高騰による中間所得層の負担軽減を目的としたものです。
※審議結果 承認

◎専決処分の承認を求めることについて

○平成22年度老人保健特別会計補正予算を3月31日に専決処分したので、その承認を求めるものです。今回の改正は、老人保健特別会計の残余事務として平成22年度までの過誤調整分等の精算を行い、平成23年3月末で廃止となるものです。

※審議結果 承認

◎専決処分の承認を求めることについて

○条例の改正を4月27日に専決処分したので、その承認を求めるものです。今回の改正は、東日本大震災における被災者への負担軽減を目的としたものです。

※審議結果 承認

◎字の変更について

○神保原駅南土地地区画整理事業の換地処分に伴い、当該事業区域に関連する字を変更するものです。

※審議結果 承認

補正予算関係

◎23年度一般会計補正予算

○歳入歳出それぞれ26,393千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ7,626,693千円とするものです。主な補正内容は次のとおりです。

・災害対策事業

1,966千円

・コミュニティ活動事業

5,000千円

・環境衛生事業

3,000千円

・児童福祉事務事業

9,000千円

・上里サービスエリア周辺地区道路整備事業

5,757千円

・中学生海外派遣事業

1,100千円

※審議結果 原案可決

◎23年度神保原駅南土地地区画整理事業特別会計補正予算

○歳入歳出それぞれ3,382千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ51,902千円とするものです。

※審議結果 原案可決

意見書関係

◎環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への対応に関する意見書

政府は昨年11月9日に、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）について関係国との協議を開始すると明記した「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定し、TPP交渉参加についての検討をおこなっている。

本来、経済連携協定（EPA）や自由貿易協定（FTA）は、我が国及び相手国双方の経済的、社会的及び文化的発展を目指し、相互の発展と繁栄を本来的な目的とすべきである。

我が国が例外なき関税撤廃を前提とするTPPに参加することになれば、農林水産業にとどまらず、金融、保険、医療等のあらゆる分野に関する我が国の仕組みや基準の変更につながり、国家の安全保障も含め「国のかたち」が一変してしまう可能性がある。

特に農業分野においては、国産農産物の多くが輸入農産物に代わり、国内の食料自給率を著しく低下させ、食料安全保障の観点から我が国を極めて危険な状況に追い込む恐れがある。

また、東日本大震災によって甚大な被害を受けた農林漁業の復興再建は急務であると同時に、改めて食料の安全確保の脆弱さを痛感したところである。

TPP交渉への参加は、こうした国のあり方にかかわる重要な課題を包含しているにも関わらず、国民の合意を得る議論が十分になされていないのが現状である。

よって、国においては、TPPへの対応に関し、国内農業の振興や食料安全保障をはじめ、経済全体に与える影響を十分考慮し、対応するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

※審議結果 原案可決

6月臨時会 6月20日

契約関係

◎工事請負契約の締結について

○長幡小学校校舎改修工事を次のとおり契約するものです。

1 契約の目的

長幡小学校校舎改修工事

2 契約金額

4,147万5千円

3 契約の相手

横尾建設株式会社

4 契約の方法

一般競争入札

※審議結果 原案可決

選挙関係

◎児玉郡市広域市町村圏組合議員選挙について

○広域議員である高橋正行議員が辞任したことに伴い新たに組合議員を選挙したものです。

新井 実 7票
納谷克俊 5票
沓澤幸子 1票

7月臨時会 7月19日

人事関係

◎議会が推薦する農業委員について

○平成23年7月19日、任期満了に伴う新しい農業委員の選出のうち、議会が選出する委員については、農業青年会議所に所属する塚本和幸氏、農業女性会議所に所属する金井洋子氏、金井絹枝氏、認定農業者連絡協議会に所属する金井明氏の4人を推薦することに決定しました。

（参考）農業委員は、選挙で選ばれた委員15人、農業協同組合、農業共済組合、土地改良区からそれぞれ推薦された委員3人と議会が推薦した4人の合計22人で構成されています。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任について

○委員である等原六郎氏が平成23年7月21日をもって任期満了となるため、後任に大字神保原町の岩堀貫一氏を選任するものです。

※審議結果 選任に同意

請願・陳情の審査結果

件 名	提 出 者	審査結果
環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への加入に反対する請願書	埼玉県農民運動連合会上里農民連支部長 野本家六	採 択
環太平洋連携協定（TPP）交渉への参加に反対する意見書の提出について	上里町農業委員会 会 長 田村好郎	採 択

一般質問



議席番号

5番 納谷克俊

【質問事項】

1. 上里中学校の耐震化について
2. 道路整備について
3. 再生可能エネルギーの活用について
4. 安心・安全なまちづくりについて
5. 公共交通機関の利便性向上について
6. 職員の懲戒処分について



上里中学校

1 上里中学校の耐震化について

(問) 分割発注、分離発注とする考えはあるのでしょうか。

(答) 地元業者を想定した入札や工事の分割、分離発注も検討していきたいと思っています。

(問) この機会に通学区の再編を行なうことを望みます。

また、将来的には上里北中との再統合も視野に入れて進めていく必要があると思います。

(答) 通学区変更を前提として建設計画が白紙に戻され大幅な遅れが見込まれることと経費が増大すると考えます。また、両校を統合すること

は上里北中の生徒数が著しく減少する状態にならないと適当ではないと考えます。

2 道路整備について

(問) 神保原本郷線（県道上里鬼石線）の南側への延伸についての見通しを伺います。

(答) 今後も県施工での早期実現のために引き続き要望していきたいと考えます。

(問) 町道105号線（藤木戸勝場線）の早期の拡幅及び歩道の整備が望まれます。

(答) 他の事業の進捗を見ながら進めていきたいと考えています。

(問) 国道17号線バイパスの進捗状況についてお伺いします。

(答) 橋梁部と現道に接続するまでの区間を平成24年度より用地交渉に入る予定です。

3 再生可能エネルギーの活用について

(問) 太陽光発電システム導入の補助金交付については地域経済振興を考えてください。

(答) 商工会が発行している上里町共通商品券で交付したいと思っています。

(問) メガソーラー施設を町に誘致しては如何でしょうか。

(答) 県への情報収集を行っていききたいと思います。

4 安心・安全なまちづくりについて

(問) 交番設置についての見通しについてお伺い致します。

(答) 高崎線の南側に交番設置を目指し、本庄警察とも打合せを行っていききたいと考えています。

(問) 消防本部庁舎建設に当たっては広域化後の拠点、中継点となるような設計にしたいと思えます。

(答) 消防本部は消防署や指令課などの各機能を集約し、児玉郡市の消防防災活動、災害対策の拠点としての機能を有するものになります。

5 公共交通機関の利便性向上について

(問) 神保原駅のホームのエレベーターは下り電車の最後尾の車両停車位置付近に設置されているため、使い勝手が良くありません。現在の停車位置よりも約2両分後方にホームの余裕がありますので、下り電車の停車位置をホーム後方へずらすようJRに働きかけて頂きたいと思えます。

(答) 鉄道事業者に対して要望していききたいと思います。

(問) 本年度より路線バス運行会社に補助金を交付することとなりましたが、関係市町との負担割合と算出根拠についてお伺い致します。

(答) 負担方法については距離按分としました。

(問) 神保原駅、本庄駅、本庄早稲田駅を結ぶ新規バス路線の設置を望みます。

(答) 住民ニーズや利用ニーズの把握が必要ですので今後、調査研究をしたいと考えています。

(問) 懲戒処分の実行において妥当性、公平性は保たれているのでしょうか。

(答) 職員の懲戒の手續及び効果に関する条例、規則並びに上里町の職員の懲戒処分等に関する指針などに照らし厳正かつ公平に行っています。

(問) 町には地方自治法施行規定による職員懲戒審査委員会はあるのでしょうか。

(答) 内部で職員の懲戒処分に関する検討会を設置して町長、副町長、担当課長で処分を決めています。

一般質問



議席番号

8番

新井 實

【質問事項】

1. 夏場の電力不足について
2. 公共施設・一般家庭の耐震化について
3. 大震災に対する防災教育について
4. 小学校の外国語（英語）活動について
5. 生肉食中毒について

1 夏場の電力不足について

（問）上里町の節電実施計画とその対応について

（答）東日本大震災の影響により東京電力第一原子力発電所が被災したことによる関東地方の深刻な電力不足は、これから一年を通じて電力消費のピークを迎える夏に向けて重大な社会問題になっていきます。これから迎える夏場の電力不足への対応として、町も国から電力需要抑制目標の15%削減という目標値が出されていますので、町では節電対策として各フロアの照明の一部消灯や冷暖房設備の使用を控える等の措置を行っております。また、各出先機関や公民館、集会所等においても、同様な方法で節電を行い、利用時間についても通常より30分程度早い閉館時間とさせて頂く等、利用者の方にも負担をお願いしております。

2 公共施設・一般家庭の耐震化について

（問）上里町の小・中学校以外の公共施設の耐震診断と耐震化の現況と今後の方針について

（答）町内各小学校の体育館については、平成9年完成の東小学校体育館を除く4体育

館においては、耐震診断（二次診断）を行いたいと思っております。本年度予算措置をしており、発注に向けて準備をしています。小・中学校以外の公共施設については、予算の都合上、現在のところ耐震診断は実施しておりません。

（問）一般家庭への耐震診断及び耐震化の推進と助成について

（答）町は、建築主事を置く市町村ではないので、一般の木造戸建て住宅の耐震診断を行う所管行政庁は県となり、町に住宅のある方の耐震診断は、本庄県土整備事務所で行っております。町では現在、一般家庭への耐震診断及び耐震化に対する助成制度はありませんが、今後、補助制度の制定に関し検討を行っていきたいと思っております。

3 大震災に対する防災教育について

（問）大震災に対する小・中学校の防災教育及び避難訓練について

（答）学校における避難訓練については、ほとんどの学校が年間3回、学期ごとに実施しております。訓練内容は、地震、火災、不審者対応です。緊急放送によって学級ごとに

避難経路を通って校庭に避難集合する訓練を繰り返し行っており、3月11日の大地震でも児童・生徒は慌てることなくスムーズに避難場所に集合することができました。また、防災教育については、多くの学級活動の中で実施しており、日頃から緊急事態に備えた意識づくりを行っています。

4 小学校の外国語（英語）活動について

（問）小学校の外国語（英語）活動が4月から5・6年生で必須化されたことに対する上里町教育委員会の各学校における対応について

（答）各小学校では、5・6年生の担任が主となりALTと協力して授業をしております。町では、既に全小学校で年35時間実施する外国語活動の年間指導計画を作成していますので、文部科学省が作成した補助教材「英語ノート」を主に用い、全校に配備されている電子黒板を活用して、計画に沿った外国語活動を実施しております。

（問）町民に肉を生で食べることにに対する注意を呼びかけることについて

（答）食中毒が発生すると、その被害も大きく、原因菌の種類によっては、今回の事件のように重症患者の大量発生や死亡にまで至るという悲惨な結果を招きかねません。この事件後に県では、生食肉を提供する飲食店や食肉処理、食肉販売を営む施設の緊急監視を行って、基準に適合しない86施設の取り扱いを中止させたとのことです。一般的には、食中毒を起こしやすい時期となってきましたので、広報等を通して広く注意喚起を行っていきたいと考えております。



英語授業

一般質問



議席番号

2番 山下 博一

【質問事項】

1. 東日本大震災について
2. 災害時応援協定について
3. 教育行政施策について

1 東日本大震災について

(問) 町の支援活動状況について町長にお伺いします。

(答) 今回は義援金支援と被災者受入れ支援及び町民への情報提供を主体に行いました。(問) 震災に伴う、23年度予算等の影響について町長にお伺いします。

(答) 国の既定経費の削減が歳入に影響を与えることが想定されます。又、特別交付税が10%程度減額が見込まれ、町たばこ税の税収落ち込みも懸念されます。町道路事業や学校耐震化工事等については国庫補助金の内示等既にされており23年度予算上の影響は無いと考えています。

(問) 夏場の節電対策について町長にお伺いします。

(答) 一般家庭で取り組める節電方法・効果を広報等で情報提供を図りたいと考えています。

(問) 原発事故に伴う風評被害等による農畜産業への影響について町長にお伺いします。

(答) 埼玉県は農畜産物の出荷制限はされていませんが埼玉ひびきの農協の今年4月の販売実績が前年比、2億余り

減収で、風評被害に対して県が定期的に放射性物質の農畜産物への影響調査を実施しています。

(問) 町の防災対策や危機管理をBCP(事業継続計画)に基づく見直しについて

(答) BCPは地震や洪水等の自然災害、火災や事故等のリスクに備えて導入している企業もありますがBCPの考えが地方自治体に当てはまるか検討したと思います。

2 災害時応援協定について

(問) 上里町と民間事業者及び支援団体との協定締結について町長にお伺いします。

(答) 町では県建設業組合、本庄市児玉郡市医師会等と協定を締結しています。今後は各事業所との協定締結を積極的に推進し災害対策に万全を期したいと考えています。

(問) 民間事業者及び支援団体との情報共有化について町長にお伺いします。

(答) 町は民間団体と応援協定を締結していますが契約書以外の共有する情報がなく相手先の詳細な情報がわからない現状であります。協定締結

の際相手先の支援内容の詳細を聞いてデータの共有化を検討したと思います。

(問) 上里町と他の自治体間及び姉妹都市提携について町長にお伺いします。

(答) 自治体間の協定については「災害時における埼玉県市町村間の相互応援に関する基本協定」を締結しています。自治体間では相互の自治体が共通する産業等で提携する姉妹都市が多く今後検討していきます。

3 教育行政施策について

(問) 子供たちの安全・安心について。町全体の通学路の安全について教育長にお伺いします。また、神保原小通学路の安全対策について町長にお伺いします。

(答) (教育長) 通学路は各学校により保護者の意見を聞いて決めています。通学班の人数、工事や交通量の変化等毎年検討の機会を設け町全体の通学路は教育委員会が把握しています。

(町長) 子ども達が通う通学路の整備に関して県道の歩道設置事業は賀美小区域が事業

化されています。神小区域の安全対策についても県に強く要望していきます。

(問) 家庭・地域の教育力の向上について教育長にお伺いします。

(答) 上里町の学校応援団は7校全て小中学校に組織されています。活動内容は小学校では学習支援や登下校の見守り活動環境整備等です。中学校では登下校の見守りや巡回パトロールです。各校応援団総勢700名位の方々に協力頂いています。「家庭教育支援チーム」についても今後研究していきます。



通学路

一般質問



議席番号

1番 植原 育雄

【質問事項】

1. 軽自動車（125cc以下のオートバイ等）のオリジナルナンバープレート製作について
2. 学校給食費の未納問題について
3. 一人暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯の現状と対策について

1 軽自動車（125cc以下のオートバイ等）のオリジナルナンバープレート製作について

（問）軽自動車の台数と調定額について。

（答）合計で台数が2990台・調定額は381万2300円であります。

※調定額とは、町が納税者に対して通知した納付すべき税額です。

（問）町制施行40周年記念事業として、軽自動車のオリジナルナンバープレート制作について。

（答）マスコットキャラクターもできるわけですから在庫のナンバープレートと新しく作るオリジナルナンバープレートを申請者が選択する方法等も検討しており、前向きに40周年記念事業に合わせ実施していきたいと思っています。

2 学校給食費の未納問題について

（問）町内の各小中学校別の学校給食費の現年度分未納者数と未納金額、又、過年度分滞納者数と滞納金額について。

（答）平成23年5月25日現在の各小中学校の未納状況は、7校合計で29名、38万

8860円。過年度分は7校合計（19年度分から21年度分）で21名、51万267円です。

（問）町内の各小中学校では学校給食費の未納保護者に対して、現在、どのような対策をしていますか。

（答）学校給食費の未納保護者に対して教職員・学校事務職員等により電話や文書により督促。授業参観等、保護者の来校時に面談し督促。経済的理由の未納世帯には就学援助制度の周知を推進。学校全体の取組み体制を整える等の指導をしています。

（問）経済的な理由等の事情が無く、支払い能力がありながらも小中学校の学校給食費を長期間滞納している世帯の保護者が存在した場合の法的措置について。

（答）本庄上里学校給食組合の教育委員会が平成22年7月に策定した学校給食基本計画の中で、学校給食費の未納防止に取り組む事が規定されています。

場合によっては未納者に対して法的措置をとる体制が必要かと思っています。



学校給食

3 一人暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯の現状と対策について

（問）町内の一人暮らしの高齢者世帯と高齢者のみの世帯の世帯数について。

（答）65歳以上の一人暮らしの高齢者は416名、高齢者のみの世帯747世帯となっております。

（問）孤立化や虐待等のリスクが高いと思われる高齢者の情報を早期に入手し、早期発見につながるための取り組みとしての町の対策について。

（答）民生・児童委員の見守り活動や高齢者配食サービスの際の安否確認。緊急通報シ

ステム等により取り組んでいます。

（問）高齢者の引きこもりや生活機能の低下を防止するため、要支援・要介護状態になる恐れがある方や、すべての高齢者を対象とした介護予防事業の考え方と取り組みについて。

（答）地域包括支援センターで、介護認定を受けていない65歳以上のすべての方を対象に生活機能チェックシートにより把握し対応しています。

（問）高齢者の一人一人が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送るため、地域での支え合い活動の普及を図るネットワーク作りの強化について。

（答）社会福祉協議会が実施主体となり、かみさと高齢者等支え合いサービス・高齢者等生活応援隊事業（調理・布固干し・部屋の掃除・生活必需品の買い物等）が始まり地域の支え合い活動のネットワークづくりにつながるものと考えています。

（問）買い物弱者（買い物難民）の現状と対策について。

（答）高齢者等生活応援隊の事業により買い物等の支援を始めています。

一般質問



議席番号

6番 中島美晴

【質問事項】

1. ケータイ（携帯ネット）教育について
2. 校庭の芝生化の推進について
3. 自転車で走りやすい町づくりについて
4. 災害に強い町づくりについて

1 有害サイト被害を防ぐ携帯電話フィルタリングの徹底を

（問）携帯電話は、子どもたちの間でも広く普及しており、その結果、ケータイネット利用による子どもの被害や加害事件が増大しています。こうしたことから、小・中学生の携帯電話フィルタリング（有害サイトなどの閲覧を制限する機能）の利用対策が急務であると考えます。子どもたちの携帯電話フィルタリングの利用促進についてお聞きします。

また、保護者などによる見守り指導などペアレンタルコントロール能力を高めることについても伺います。

（答）子どもに携帯電話を持たせる時には、必ず親子で約束やルールを決める必要があります。そこで、昨年度、すべての小・中学校において、講師を招き、生徒や保護者を対象に、フィルタリングの利用促進を促す講座や講演を実施しました。今後も、各学校に指導してまいります。

2 校庭の芝生化（鳥取方式）の導入について

（問）環境優先の彩の国づくりとして校庭・園庭の芝生化の推進で、期待されているのが、無駄を最大限に省いた施工・維持管理で芝生化を可能にした安価な鳥取方式です。日本サッカー協会が取り組んでいる「西洋芝のポット苗無償提供事業」に、本庄市の秋平小学校は昨年実施、仁手小学校は、今年取り組みます。上里町もモデル事業として、導入してはいかがか。ご見解をお聞かせ下さい。

（答）今後、各学校の実情に合わせて導入できないかを研究してまいります。



小学校の芝生

3 自転車で走りやすい町づくりについて

（問）自転車の安全利用について、交通安全教育の促進についてお聞きします。

（答）今後も、交通安全教室などの指導や広報などにより、自転車の安全利用に努めてまいりたいと思います。

（問）自転車の駐車場の整備（神保原駅南側）と放置自転車対策としての条例制定について、その後の検討をお聞きします。

（答）駐輪場の整備については、県に相談しています。また、路上駐輪対策としての条例制定は、必要であると考えられています。

（問）歩道や自転車道の整備についてお聞きします。

（答）当町には、自転車専用レーンはありませんが、21年度より道路舗装面の段差や路面の陥没などを集中して補修してきました。

（問）サイクリングロードの整備について「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」について、お聞きします。

（答）埼玉県に対して、強く要望してまいります。

（問）公用自転車（エコりん）の導入について、お聞きします。

（答）検討させていただきま

4 災害に強い町づくりについて

（問）上里町災害時要援護者避難支援制度について、どこまで進められているのか、お聞きします。

（答）災害時要援護者安否確認事業として、実施要綱を作成し、施行前の段階です。

（問）「支えあいマップ」は、共助のまちづくりのバロメーターの一つになると考えますし、避難支援者探しに効力があると思います。このマップ作成について、お聞きします。

（答）県の補助金制度を利用して、今年度作成する予定です。

（問）とりあえず避難するご近所への避難場所の確保と訓練について、お聞きします。

（答）現在、町内の指定避難場所は、26ヶ所あります。また、日頃から、地域コミュニティを利用した防災訓練を各地域で行うことは、大変重要であると考えます。

一般質問



議席番号

10番

斎澤 幸子

【質問事項】

1. 中小企業、業者支援で地域の活性化を図り、防災に対応できる町づくり
2. 教育環境について
3. ごみ問題について
4. 介護保険について

1 中小企業・業者支援で地域の活性化を図り、防災に対応できる町づくりについて

(問) 災害に強い町には、福祉の充実が欠かせません。いざと言う時に地域の実情を把握した職員が、公的責任を維持出来る町が重要と考えます。町長の考えをお聞かせします。

(答) 被害を最小限にする空間づくり、公共施設・民間施設の耐震化。町民の防災意識の高揚。地域防災力、自主防災組織の育成強化、災害時の支援体制の確立です。

(問) 地元中小企業・業者への営業や暮らしの聞き取り調査を実施して下さい。

(答) 抽出の実施は出来ます。

(問) 古い耐震診断基準の建物(何軒)への耐震診断補助の検討と交付金等を活用し、地域経済の活性化と防災対策の促進を図る思い切ったリフォーム助成制度の拡充と、災害弱者への家具の転倒防止策を講じることについて伺います。

(答) 木造住宅は3884棟です。来年度は5ヶ年計画で補助金も出るようですので、検討したい。家具の転倒防止

も頭に入れて考えたいと思います。

(問) 福島原発の事故に対し、放射能測定器を購入し測定を行って下さい。

(答) 現在、簡易型の測定器は需要が急増し購入が難しいので、県の実施結果を見ながら検討したい。

(問) 町の避難場所の74%は各小・中学校です。避難所全体の耐震診断見通しと、急遽学校給食が中止になった場合の非常食活用について伺います。

(答) 体育館の耐震診断は今回予算化しました。防災備蓄倉庫は各学校に設置してあります。急遽時の非常食も検討の課題にしたいと思います。

(問) 学校給食センター建設にあたり、災害時の食事提供などを含め、自校方式を提案してきましたが避難時の食事について伺います。

(答) 学校給食センターは、地下貯水槽と自家発電機を備え炊飯機能は1時間に2000食、連続35時間運転の能力があります。

2 教育環境について

(問) 学習指導要領改訂で授業や宿題が増加し、遊ぶ時間が減少していることは、子どもの健やかな発達に重大であり、実態の把握が必要です。

(答) 各学校の聞き取り調査で、一部には子ども達は大変そうだという意見もありました。私は、学校より家庭のほうに難しさがあるのではと思います。

(問) 上里中学校設計基本計画の策定に、太陽光発電システムを取り入れ猛暑から子ども達を守るエアコン設置可能な整備にすることについて伺います。



放射線量測定

(答) 太陽光発電及びエアコンについても検討したいと思っています。

3 ごみ問題について

(問) ゴミに混ざった資源は売却単価が下がります。情報を提供し、分別促進を図るようお願いします。

(答) 資源の活用と処理費節約の効果があるので周知を図りたい。新たな資源化は、受け入れや処理コストなど検討したいと思います。

(問) ごみ袋は、深谷市や寄居町の様に指定以外の透明袋の使用を可能にし、一日の収集範囲を広げ、コストをかけずに可燃ごみの収集回数増加を図れないでしょうか。

(答) 広域圏の会議、各首長さんにも、一般質問で要望が出たことをお話させていただきたい。

4 介護保険について

(問) 介護保険の改定案では、軽度の要支援者を介護保険から外そうとしています。サービスを低下させない判断をお願いします。

(答) 前年度と同じように進めたい。法の範囲内でサービスが落ちないように努力したい。

委員会のうごき

消防施設視察・治水大会

総務経済常任委員会

2日目は、八潮市消防本部の庁舎建設に係る視察研修を行いました。佐野SAに設置されているスマートICは、上里SAに設置を目標としているものと同じタイプの大型車対応のダブルゲート

8月4日（木）、5日（金）の2日間、総務経済常任委員会の視察研修が行われました。視察日程、視察先及び視察内容については以下の通りです。1日目は、はじめに東北道佐野SAに設置されているスマートICの視察を行いました。その後、久喜市内の南栗橋地区区画整理地内の液化化現象地域の視察、同じく久喜市内で行われた第62回利根川治水同盟治水大会に出席した後、幸手市内の江戸川堤防

陥没箇所の視察を行いました。



ト式であり、視察中にも多くの通過車両があり、上里SAへの早期設置の必要性を改めて感じました。南栗橋及び幸手の江戸川堤防については、共に東日本大震災において被害を受けたものであり、上里町においても地震ハザードマップなどを参考に、平時より防災意識を高めていくことの大切さを痛感いたしました。治水大会においては、新潟・福島等の豪雨災害の直後ということもあり、例年以上の盛り上がりを感じられました。近年、ゲリラ豪雨といわれる局

所的な豪雨災害が多発していることもあり、震災対策同様の危機管理意識の重要性を再確認致しました。

八潮市消防本部の視察研修については、児玉郡市広域消防本部の庁舎建設計画が進んでいることから、埼玉県内で最新の設備を誇る八潮市を視察したものです。

視察では、はじめに会議室で市議会議長から八潮市の情勢についての説明を受けた後、消防長をはじめとする消防職員の方々から施設建設までの経過や職員体制等の説明を受けました。

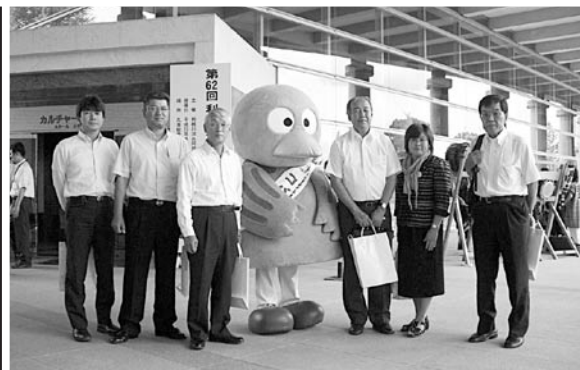
その後、各施設や装備、訓練状況などを見学しながら詳細についての説明を頂きました。

今回の八潮市消防本部の視察研修によって、改めて消防本部・署の役割について再認識したこと共に、児玉郡市広域消防本部の建設計画において今回の視察研修で得たことを少しでも反映させていけるよう努力していきたいと感じました。

町内保育園・児童館施設訪問

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、7月14日（木）と15日（金）の2日間、町内の公立保育園（2園）と公立の児童館（5館）を各関係部署の協力を得て施設訪問を実施しました。前年までは、学校訪問を実施していましたが、文教厚





生常任委員の意見もありまして、今年は町内の公立保育園と公立児童館を訪問することになりました。

7月14日(木)は、午後から長幡保育園と長幡児童館を7月15日(金)の午前は中央保育園と七本木児童館、午後は上里東児童館、賀美児童館、神保原児童館を訪問しました。福祉こども課長の進により各園長及び各館長より、施設の概要・入園者、入館者、放課後児童クラブ員の状況、職員数、職員構成・施設の現状と課題の順に説明をして頂きました。

特に、保育園においては正規職員より臨時職員が多いのが気になりました。今年の夏は電力対策に伴い企業の就業時間変更に対応し、必要な園児(土曜・日曜日・祭日)の保育も開始したり、又、職員の産休、病欠時の職員配置に苦慮しているようです。

避難訓練については、保育園は広域消防上里分署の指導(年1回)を受けて毎月実施しており、児童館においても広域消防上里分署(年1回)等の指導を受けて、年2回実施しています。

中央保育園の園庭には大きな木が無く、園舎のテラスの屋根にはビニールシートが張られており、より暑く感じられましたので暑さ対策を考えるべきだと思います。

上里東児童館では、床のじゅうたんの取り換え時期が来ています。

神保原児童館では、クラブ室が狭く感じられました。緊急雇用特別交付金の助成により、各施設で、緊急に必要な箇所への対応(修繕・修理等)がされ、関係者には感

謝されておりました。

保育園及び児童館に共通して要望されていることは、教育の町を宣言している町でありながら、正規の職員が少なく(臨時職員で)対応してい

ることで、子供たちの身に何が起こってからでは大変ですので、委員会として町当局に「必要とされる正規職員を採用し」対応されるよう強く要請していきたいと思います。

児玉郡町議会議員前期研修会



郡内3町(美里町・神川町・上里町)の議会議員が出席し開催されました。

研修に先立ち、前年度議長の役員として会の発展と地方自治の推進に尽力されました美里町正副議長と神川町正副議長の4名の方々に対して、伊藤会長より感謝状の贈呈が行われました。

研修会においては、講師に埼玉県企画財政部市町村課行政担当主幹「影沢政司」氏を迎え「地方自治法の改正をめぐり動き」と題し、平成23年5月2日に公布された地方自治法の一部を改正する法律について講演を頂きました。今回の改正は、地方公共団

体の組織及び運営について、その自由度の拡大を図るとともに、直接請求制度についても、適正な実施を確保するために必要な改正を行ったもので、その概要は、議員定数の法定上限の撤廃や議決事件の範囲の拡大、行政機関等の共同設置等の改正内容で今後の議会活動や地方公共団体のあり方について参考となるものでした。

また、今後における地方自治法の抜本改正についても詳細にわたり研修を受けました。その概要は、今後国会において審議されていくものと思われませんが、内容は、地方公共団体の基本構造のあり方、長と議会の関係のあり方、住民自治制度の拡充、国と地方の係争処理のあり方、基礎自治体の区分・大都市制度のあり方、広域連携のあり方、監査制度・財政会計制度のあり方であり、今後改正が見込まれ議論となる部分について研修を受けました。

この度の研修の成果を今後の議会運営並びに町づくりに活かして参りたいと考えます。

議会日誌

6 月

- 1日 埼玉県町村議会議長会臨時総会
- 2日 6月定例会初日（開会、町長の行政報告等）
- 2日 一般質問
- 3日 一般質問
- 6日 議案審議（条例等、23年度補正予算）
- 7日 文教厚生常任委員会
- 7日 スポーツ少年団総会
- 8日 総務経済常任委員会（請願等審査）
- 10日 定例会最終日（請願採決、意見書審議）
- 10日 全員協議会
- 14日 埼玉ひびきの農業協同組合通常総代会
- 19日 男女共同参画週間講演会
- 20日 臨時議会
- 24日 コミュニティ協議会総会
- 29日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 29日 社会を明るくする運動推進委員会

7 月

- 8日 全員協議会
- 8日 児玉郡町議会議員前期研修会
- 11日 認定農業者連絡協議会総会
- 14日 文教厚生常任委員会施設訪問
- 15日 文教厚生常任委員会施設訪問
- 19日 臨時議会
- 26日 議会だより編集委員会

8 月

- 3日 彩の国さいたま人づくり広域連合議会
- 4日 利根川治水同盟治水大会
- 4日 埼玉県町村議会議長会県外視察
- 5日 総務経済常任委員会視察研修
- 5日 明るい町づくり意見発表会
- 11日 児玉郡市広域市町村圏組合議会県外視察
- 16日 中学生海外派遣事業結団式
- 17日 議会だより編集委員会
- 19日 国道17号建設促進期成同盟総会
- 26日 臨時議会
- 26日 議会運営委員会

委員					副委員長	委員長	区分
	植井敏夫	中島美晴	小暮敏美	根岸晃	山下博一	納谷克俊	総務経済 常任委員会
新井實	荒井肇	沓澤幸子	高橋仁	伊藤裕	高橋正行	植原育雄	文教厚生 常任委員会
	植井敏夫	荒井肇	沓澤幸子	高橋仁	中島美晴	小暮敏美	議会運営 委員会

上里町議会議長会構成

議長 伊藤裕
副議長 新井實

上里町議会議長会構成表

平成二十三年六月十日現在

伊藤議長 郡町議長会会長・
県町村議長会副会長に就任

5月26日美里町で開催された郡議長会総会において、児玉郡町議長会会長に選出されました。また、6月1日さいたま市で開催された埼玉県町村議長会総会において、副会長に選出されました。

埼玉県町村議会議長会は、県内24の町村議会が加入し、地方自治の円滑な運営と振興発展に寄与することを目的に、議会運営の研究や議員研修等を行っています。

9月定例会を傍聴しませんか

■手続きは簡単です■

9月定例会は、9月5日（月）に開会の予定です
尚、一般質問は20日、21日の二日間です

●お問い合わせは議会事務局へ
電話35-1216（直通）

編集後記

東日本大震災が発生してから5ヶ月経った8月10日、上里町災害復旧応援隊が結成され、宮城県東松島市に派遣されました。応援隊（災害復旧ボランティアバスツアー）のメンバーは、上里町消防団、商工会、役場職員、議会で総勢21名でした。現地は、津波で被災したお寺の墓地の復旧作業でした。気温が30度以上の炎天下の作業でお疲れ様でした。

さて、9月1日は、防災の日、関東大震災が発生した日であります。例年、台風の襲来が多い時期とされて全国各地で防災訓練が実施されます。上里町でも、9月4日防災フェスティバルが、堤調整池で行われます。普段から防災への備えを怠らないように致しましょう。

委員				副委員長	委員長	議会だより編集委員会
植原育雄	高橋正行	納谷克俊	小暮敏美	山下博一	中島美晴	

